

○「農業の動きや今後の方向を意見交換」

(京都府宮津市 由良地区連絡会議)(平成31年度第3回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化遊休農地の
発生防止・
解消新規参入の
促進その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和元年8月27日(火) 19:00～21:30
- 場 所: 宮津市由良集会所
- 出席者: 藤井会長、枡田推進委員
協力員6人、事務局2人
※委員2人、委員以外8人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

- 東部生産組合(浜野路・港・石浦)によるほ場整備地区(95人)。トラクターを所有し貸出
- 由良東部農地管理協議会(30人)で中山間・多面的事業を実施／由良地区営農組合が乾燥機を所有し、受託組織となっている
- 上石浦では個人がオリーブを直売／下石浦では、みかん組(代表・藤本とくお氏)合があるが組織活動はなし



3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査報告会
- 意見交換 地区連絡会議アンケートまとめ報告(6集落)
 - ・作付け拡大予定農家(なし) 耕作放棄地について(話し合いなし2地区)
 - ・農業の動き 由良宮本;ミカンからオリーブに切り替えての栽培が増えている
港;草刈りに若者が参加してくれるようになった
 - ・今後の方向等について(耕地整理、後継者・担い手確保、若者誘致施策など)
 - ・由良営農組合による区集会希望 ほか、活動目標(法人化支援、自治会と農家の話し合いなど)

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援